



2019年 第10回
 高校生の

「建築甲子園」

地域の暮らし — これからの地区センター —

主催 公益社団法人 日本建築士会連合会、都道府県建築士会

後援 公益社団法人 全国工業高等学校長協会、国土交通省

- 審査委員長
 片山和俊
 (東京藝術大学名誉教授)
- 審査員
 遠藤孝司
 (教育・事業本委員会委員長)
- 川嶋和之
 (青年委員会委員長)
- 小野金子
 (女性委員会委員長)
- 森崎輝行
 (まちづくり委員会委員長)

審査総評

第10回を迎えた今年度、“地域の暮らし”のサブテーマを変えた。これまでの課題が難しいとの意見もあり、誰でも知っていて利用する機会がある建築にと考え“これからの地区センター”とした。そして建築の専門性を生かすように設計重視“カッコいい建築”を付け加えた。

その結果が楽しみでもあり不安でもあった。今回応募は36作品。1次審査では審査委員の採点をもとに選定を進めたが、建築に地域の暮らしがどう反映されているかという視点から選んだ結果、残った作品は8校あまりであった。残念ながら地域と地区センターの関係や、センターが立地する周辺環境との関係が捉えきれない作品が目についた。天から降ってきたようなと言ったらよいだろうか。その地域にあるという必然性が見えない形や設計の作品を前にして、不安が的中したように思われた。もしかしたら“カッコいい”が誤解を生んだかも知れない。

一方最終審査に進んだ作品は、いずれも例年に変わらない力作であった。特に感心したのは提出されたプレゼン動画で、いずれも上手い。最終審査では、図面パネルでは分からなかった計画の発想と組立てを知ることができた。その情報をもとに図面パネルと合わせながら、トーナメント形式ではなく、8校から各審査委員が上位4校を選び、その結果をもとに選考を進めた。その結果3校が満票で一致し、残る1校を決める過程で意見交換をしながら、各賞を決定した。

優勝は群馬県桐生工業高等学校「桐生新町に建つ地区センター」に、準優勝は山形県新庄神室産業高等学校「私たちのまちの中心をつくる」に決まっ

た。桐生の作品は、調査から立案そして設計まで、緻密に組上げられた密度の濃い計画である。加えて先輩たちが長年トライしてきた計画群とのコラボを打出し、同じ地域で計画を積み重ねてきた広がりや厚みを感じさせ、建築甲子園10年に相応しい作品であると評価された。これまでの全作品を一同に集めた展覧会が待たれる内容であった。一方新庄神室の作品は、地区センターとして複合化した機能の組立ての明確さ、冬期の積雪や木材利用など風土から解いた建築構成がよかった。設計重視という今年のサブテーマによく応えているとして審査委員から評価された。ただし私の中には、ランドマークにという意図は良いとしても、周囲の環境との応答が不足していること、市役所に囲まれた市民ひろばはどうかという疑問が残っている。

他の6校のうち大阪都島第二工業高等学校の作品は、計画の着眼点と小さなスケールへの拘りに惹かれたが、引込み線の空間の活性化には、沿道両側の助けを借りても良かったのではないかと思考された。一方浜松工業高等学校の作品は、小粒ながらコンセプトも構成もよく上位2校に迫る魅力があると判断して、審査委員長特別賞を贈ることとした。

総じて今回の甲子園は、設計重視とした点が明暗を分けたようである。しっかり設計をするためには、逆に地域や周辺環境との応答が鍵になると気づいて欲しかったが、難しかったかも知れない。そのことを肝に銘じてこれから取組んで貰えたらと思っている。

(建築甲子園審査委員長 片山和俊)

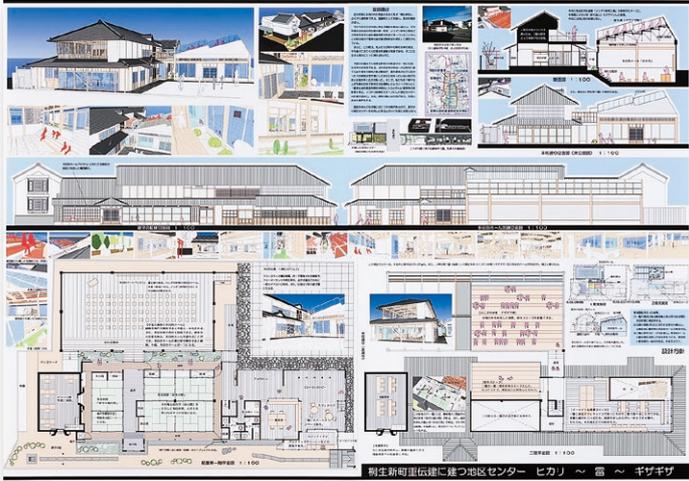
2019年
第10回 高校生の

「建築甲子園」 審査結果



群馬県立桐生工業高等学校

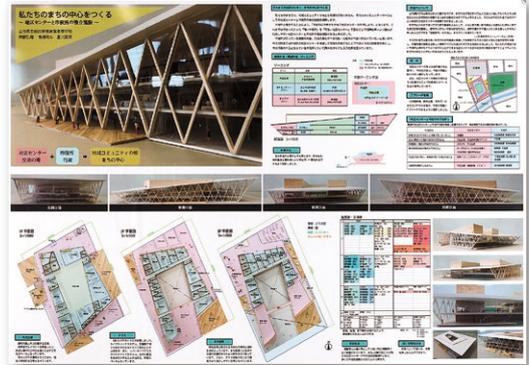
桐生新町重伝建に建つ地区センター
ヒカリ～雷～ギザギザ



教育・事業委員長特別賞

山形県立新庄神室産業高等学校

私たちのまちの中心をつくる



BEST8・審査委員長特別賞

高校名	応募作品タイトル
-----	----------

静岡県立浜松工業高等学校	寄り添うこと、共に生きること ～舞阪地区センター～
--------------	------------------------------

BEST8・入賞

高校名	応募作品タイトル
-----	----------

岡山県立津山工業高等学校	繋がる、広がる、変わる。 ～これからの地区センターのあり方～
広島県立宮島工業高等学校	子ども見守り隊～Children are core～

BEST8・青年委員長特別賞

高校名	応募作品タイトル
-----	----------

徳島県立徳島科学技術高等学校	ワッショイ!!!! TOKUSHIMA2020
----------------	-------------------------

BEST8・女性委員長特別賞

高校名	応募作品タイトル
-----	----------

富山県立富山工業高等学校	SAKAの町の地区センター
--------------	---------------

BEST8・まちづくり委員長特別賞

高校名	応募作品タイトル
-----	----------

大阪市立都島第二工業高等学校	路面電車の通る街
----------------	----------

奨励賞

高校名	応募作品タイトル
-----	----------

北海道札幌工業高等学校	土地の有効活用によるサステイナブルな地区センター
青森県立青森工業高等学校	RHCセンター～短命県返上プログラムのための地区センター～
仙台高等専門学校	growth～成長する地区センター～
秋田工業高等専門学校	すまコミュニティ～無人駅と地区センターの開発～
福島県立郡山北工業高等学校	Transmit
栃木県立宇都宮工業高等学校	高齢者が主役! 地域センター
埼玉県立春日部工業高等学校	北春日部 駅前ロータリー倶楽部
川崎市立川崎総合科学高等学校	Environment Design 芸術で創る三崎
山梨県立甲府工業高等学校	えん～柚子(キズナ)実るコミュニティ～
岐阜工業高等専門学校	ぼくらの湊～長良に浮かぶ学びの舟～
近畿大学工業高等専門学校	希望の箱
石川工業高等専門学校	これからの分譲地におけるコミュニティセンター 『住宅のシェアリング』と『シェアリングエコノミー』
福井県立武生工業高等学校	Let's have a break 次世代の地区センター
滋賀県立彦根工業高等学校	together

高校名	応募作品タイトル
-----	----------

舞鶴工業高等専門学校	交流木
兵庫県立東播工業高等学校	湖畔に建つ"世界樹"ユグドラシル～新しい地区センターの提案～
奈良県立奈良朱雀高等学校	Bamboo Community～地域共同体～
和歌山県立和歌山工業高等学校	和歌山恵み地区センター 紀州の恵みを体感しよう!
山口県立柳井商工高等学校	地域と過ごす日常～1人を無くすまちづくり～
香川県立坂出工業高等学校	地区センターの夢、叶えます
松山聖陵高等学校	Activate 自然と共に生きる地区センター
大牟田高等学校	S・S・S～漣く・素敵な・センター～
佐賀県立塩田工業高等学校	塩田津BASE
長崎県立島原工業高校	繋～僕らをつなぐ地区センター～
熊本県立熊本工業高等学校	多良木の日輪～月を照らす永遠の光となるように～
大分県立鶴崎工業高等学校	地区センターが生み出す新たな地区の創造! 山と海に囲まれた限界集落にヒントあり!!
宮崎県立日向工業高等学校	～駅でつながる物語～
鹿児島県立薩南工業高等学校	cross-cultural communication facility

※高校生の建築甲子園は、公益社団法人全国工業高等学校長協会のジュニアマイスター制度の認定プログラムです。

出場校の全作品と審査評は(公社)日本建築士会連合会のホームページでご覧いただけます。

<http://www.kenchikushikai.or.jp>